

令和2年度 十勝川中流部市民協働会議 活動記録 (1)

十勝川相生中島上流湿地における再樹林化防止のための土砂掘削他

日 時	令和2年4月20日(月)～ 4月24日(金)
場 所	十勝川相生中島上流湿地
目 的	<p>相生中島上流湿地は、十勝川の流下断面確保と再樹林化防止を目的に、平成24～25年度に掘削されたことにより形成されました。</p> <p>平成28年8月の台風によって湿地の大半が土砂に覆われ、水域も半分程度に減少しました。この活動は、半減した水域環境拡大と湿地環境維持を目的に行われ、今回で4回目となります。</p>
内 容	<ol style="list-style-type: none">平成28年(2016年)の台風に伴う土砂堆積により半減してしまった水域の復元<ul style="list-style-type: none">水域拡大のため現状の水際を掘削(約0.2ha)ヤナギ再樹林化防止のため生育しているヤナギの除去(合計約1.2ha)<ul style="list-style-type: none">ヤナギ実生生育箇所へ覆土(約0.3ha)ヤナギ幼木生育箇所を重機で踏圧(約0.6ha)中州に生育していたヤナギを手作業により除去(約0.3ha)ガマ生育面積の拡大<ul style="list-style-type: none">現状の生育箇所周辺の水際を掘削し生育に適した環境(水深)を創出(約0.3ha)外周道路の整備<ul style="list-style-type: none">今後も環境を維持していくため、水域を1周できる外周道路を整備(約0.1ha、延長約160m)水域内に埋まっていた屋根の撤去

掘削前



- 凡例
- 水色 : 水域
 - 赤色 : 掘削範囲
 - 緑色 : 覆土範囲
 - 紫色 : 踏圧範囲
 - 黒色 : 外周道路
 - 桃色 : 手作業除去

掘削後



各範囲の面積 ①約0.2ha ②約0.3ha ③約0.3ha ④約0.4ha ⑤約0.2ha ⑥約0.1ha ⑦約0.3ha

作業状況(4月20日～24日の作業)



掘削状況



掘削状況



ヤナギ覆土状況



ヤナギ踏圧状況



手作業によるヤナギ除去状況



水域に埋まっていた屋根撤去状況